

紅葉の橋

作詞

河竹黙阿弥

作曲

二世杵屋正次郎

もみじ たもと
紅葉の橋の袂から

そで かきね ことづて
袖を垣根の言伝に

ちよつと耳をばかささぎの
みみ

しも
霜もいつしか白々と

積もるほどなお深くなる
つ

雪をめぐらす舞の手や
まい

ヨイヨイ ヨイヨイ ヨイヤサー

補注、この曲は明治十二年（1879年）に来日した米国大統領 Grant

将軍の歓迎の為に作られ、「招待芝居」で公開された端唄である。

